

土曜学習応援団になりませんか？

～全ての子供たちの豊かな学びのために～

皆さんは、土曜日をどのように過ごしていますか？

平成14年度に完全学校週5日制がスタートして12年が経過し、土曜日を活用して、ご家庭や地域では、様々な学習や体験活動に取り組んでいただいていることと存じます。

未来を担う子供たち一人一人の可能性を最大限伸ばし、健やかに育むためには、子供たちが社会で活躍する多くの大人に出会い、将来の夢や志を持って学ぶ機会の充実が必要です。

文部科学省では、子供たちがより豊かに土曜日を過ごすことができるよう、土曜日の教育活動を応援するため、多様な企業・団体の方々の参画を得て「土曜学習応援団」を組織し、実社会での経験や企業・団体の強みを生かした出前授業を行っていただく取組を積極的に推進しています。

「土曜学習応援団」

～土曜日に出席授業等の講師として企業・団体の方が参加している事例～



金融系A社による
グローバル人材を目指す講演



電機メーカーB社による
ハイブリッドカー親子工作教室



掃除用具メーカーC社による
お掃除体験教室

全国では、公立小学校、中学校、高等学校の約40%（約12,700校）において、土曜日の教育活動が展開されています。

また、現在、土曜学習応援団には、約100社・団体のご賛同をいただいています。

- **それぞれの企業・団体・大学等の皆様の豊富な知識・ご経験を子供たちに届けませんか？**
- **是非「土曜学習応援団」へのご賛同と出席授業等の講師としてのご参加をお願いします。**

詳細は、裏面及び文部科学省の土曜学習応援団ホームページをご覧ください。

URL: <http://doyo.mext.go.jp>



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



土曜学習応援団に関するQ & A

Q.土曜学習応援団になるとどんなメリットがありますか？

A 出前授業等にご協力いただくことで、各企業・団体の強みや社員の経験を子供たちに伝えることができ、**次代を担う人材の育成に貢献**できます。
また、**地域との連携**ができ、各社の取組に対する理解が深まるなど、企業イメージの向上にもつながります。
なお、**出前授業の事例等**について、**文部科学省**よりホームページや自治体への説明会などを通じて**広く周知**させていただくことも可能です。

Q.土曜学習応援団になると何か負担がありますか？

A 出前授業の講師としてご参加いただいたり、関連団体・支社等への土曜学習応援団のご紹介等をお願いしていますが、ご賛同に際し、**協賛金等の負担をお願いすることはありません**。
また、出前授業等については、地域や日時等の条件に応じて、実施の可否をご判断いただけますので、**できる範囲でご協力をいただければ結構**です。

Q.出前授業等を実施するためにはどうしたら良いですか？

A まず、**企業・団体の連絡窓口を登録**いただきます。学校等からの依頼がありましたら、**文部科学省から窓口の方にご連絡**し、依頼内容をご確認の上、実施の可否をご判断いただきます。なお、やりとりを重ねる中で、学校等から直接ご連絡することもあります。

<参考>

- ・土曜学習の**実施主体は、その学校を設置する自治体**。
- ・自治体では**教育委員会の社会教育課等**の部署が担当。

Q.取組に対する助成措置はありますか？

A 出前授業に係る講師謝金や旅費等をお支払いできるか、無償でお願いするかは、**実施主体である自治体の判断**となります。
なお、文部科学省では、自治体が出前授業の講師等に支払う謝金等に対して**自治体向けに補助事業**を設けています。
(文部科学省の支援は、上限2,200円/時間)

【本件担当】

文部科学省 生涯学習政策局 社会教育課 地域・学校支援推進室 鍋島、佐藤、入江、武川
直通：03-6734-3080 FAX：03-6734-3718 Email：doyo@mext.go.jp

ご賛同いただける場合は、以下に記入の上、本件担当まで送付願います。(FAXでもメールでも構いません)

土曜学習応援団に賛同します

ご賛同 団体名	(例) 株式会社文部科学、一般社団法人〇〇〇〇 など
------------	----------------------------

【連絡担当者】今後、本件についてご連絡させていただく方を教えてください。

氏名			
会社・団体名			
役職			
電話		FAX	
E-mail			